

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	17名
部会名	副会長の部(小A)	助言者	藤島 保奈美 校長(富士川一小)	
司会者	後藤 栄紀(田子浦中)	記録者	古川 正紀(大淵一小)	
<p style="text-align: center;">テーマ</p> <p style="text-align: center;">役員選出の方法について PTA活動のスリム化について 父親の参加率を上げるための方法</p>				
<p>会議概要</p> <p>役員選出の方法について</p> <p>小学校区の地域単確認や学年単位でくじ引きをして役員を決め、その中から将来の会長候補を決めるといった学校や一本釣りや役員を引っ張ってくる学校が多かった。その中で富士中央小は、立候補制をとっている。やり方としてはPTA総会時に各部の宣伝を行い、立候補したい人は事務局までメールを送る。もし役員が決まらない場合は3年生の親がくじ引きをするということだった。</p> <p>会長は現会長から指名されて引き受けるというところが多かった。</p>				
<p>PTA活動のスリム化について</p> <p>役員の負担や学校の負担を減らすための取り組みとして、役員数を減らす、古紙回収の回数を10回から7回に減らす、会合の数を減らす、PTA主催の行事を減らすといったことをやっている学校もあるが、実際にやってみるとやっぱり減らさない方がいいという意見もあつたりしてなかなか苦労しているところもあるようだ。</p>				
<p>父親の参加率を上げるための方法</p> <p>ある学校は役員9割が女性であるため地区のお祭りのとき等に男手が足りなくて苦労しているとの発言があり他の学校はどうしているのか教えてほしいとのことだった。</p> <p>広見小学校では元々PTAのOBが集まったおやじの会がPTA活動の協力をしているという話だった。ほかにもPTAの中に父親クラブのような形で予算をもらって活動しているところもあった。</p> <p>父親として学校や子どもたちに何かしてあげたいという出席者の方が多く熱心に意見を聞いたりしてい</p>				

たのが印象的だった。

まとめ

藤島校長先生から

P T A活動は大変なイメージだけが先行していて実際にどんな活動をしているのかが正しく伝わっていないのではないか。どんなことをしているかわかるようなアピールを。例えばP T A新聞を活用し、P T A活動の楽しさをアピールする。楽しめる活動があればやってみようと思う人は必ずいるとのことだった。活動のスリム化についてはできるところからやっっていこうとの言葉をいただいた。

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日（日）	会場	吉原小学校	参加者数	17名
部会名	副会長の部（小B）	助言者	小林 尚子 校長（鷹岡小）	
司会者	小池 義治（富士中央小）	記録者	田中 博道（広見小）	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 役員の選出方法</li> <li>・ 副会長の役割</li> </ul>				
<p>会議概要</p>				
<p>・ 自己紹介を兼ねて、それぞれの学校の役員選出方法を紹介してもらう。</p>				
<p>それぞれの発表を集約すると、ほぼ下記の2通りの選出方法である。</p>				
<p>① 地区から選出</p>				
<p>② 前年度役員からの一本釣り</p>				
<p>・ 地区からの選出でも多少違いがあり、下記のとおりです。</p>				
<p>校区内をいくつかのグループに分け、そのグループごと輪番制での選出。</p>				
<p>各町内からの選出。</p>				
<p>いずれも、選出にあたってはくじ引きが多いようです。</p>				
<p>・ 前年度役員からの一本釣りについては、押しつけのような決まり方もあるようです。</p>				
<p>・ 副会長の役割</p>				
<p>副会長にも執行部付と専門部付があり、それぞれ役割が異なる。</p>				
<p>・ 執行部付は、会長補佐や、次年度会長候補者のため、単P事業の統括的役割</p>				
<p>・ 専門部付は、各専門部事業についての助言を行う。</p>				
<p>上記の点から、同じ副会長であっても温度差を感じた。</p>				

・ その他

・ 新事業の取り組み方

・ 新事業をやりたいが、各専門部への負担となりそうで踏み出せない。

・ 対策として

・ おやじの会や父親委員会などの、PTA 協力組織を活用

・ 地域の各諸団体との連携による事業の展開

などの意見があげられ、子どもたちが楽しめる事業を増やしたい意見が多い。

・ PTA 活動全般について

・ イヤイヤ役員となるケースの対策

・ 自らが楽しむ…参加している子どもたちは敏感に察知するので、盛り上がりに欠ける。

・ 決まったからには任期中やらなくてはいけないので、楽しさを見出す。

小林校長からの助言

・ 学校にとって PTA はなくてはならない存在。とても助かっている。

・ 無理をしないで事業を推進するために下記の言葉をいただきました。

・ 自ら楽しむ

・ やれるときにやれる人が、やれることを決して無理せず。

・ すべては子どもたちのために。

・ 教育現場では、教員は風・学校は大地

教員は任期で転任してしまうが、学校はつねに同じ場所にある。その学校を PTA 皆さんで支えていただきたい。

以上

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	16名
部会名	副会長の部(中)		助言者	石井 邦芳 校長(岳陽中)
司会者	馬場 浩司(岩松中)		記録者	勝呂 光代(岳陽中)
<b>テーマ</b> ・役員の決め方(副会長の選出方法) ・副会長の役割 ・その他(PTA活動への取組, 不審者対策, 友達とのLINE)				
<b>会議概要</b>				
●自己紹介・学校紹介(PTAの取組, 学校の特色等)				
吉一: お祭り見守り、三校合同ソフトバレーボール大会を開催している。				
吉二: 三校合同バレーボールの開催、体育館が新しくなり子供達も喜んでいる。				
吉三: 二年生になると長野農業体験(民泊)がある。貴重な体験(お風呂の入り方等)もできる。				
元吉原: 生徒は150名程。行事等は生徒の自主性に任せて行っている。毘沙門天の見守り活動。				
吉東: 地元にお祭りが多。地域と連携して参加している。子供が少ないので部活動の選択肢が少ないのが、子供にとって少しマイナスかなと思う。				
須津: PTA球技大会がある。				
大淵: 三校合同講演会がある。(2020年オリンピックバレーボールアナリスト予定)				
学区が広いので、学校への送迎があるので、交通安全見守りに地域と共に力を入れている。				
富士: 参観日等の参加率が高い。アルミ缶回収等を子供と一緒にしている。				
田子: 地域と関わりが深い。(みなと祭り, マラソン, マルシェ等) 地区で安心安全を目指している。				
岩松: かりがね祭りに出店、巡回。岩本山梅祭りに出店。地区を含めた5団体で講演会を開催。				
富士南: 各学年8クラスのマンモス校であるが、静かで落ち着いている。3校合同ソフトバレー大会がある。				
鷹岡: 鷹小、天間小の2校からなる。天間小学区は少ないので、役員が集まりにくい。				
岳陽: あいさつ運動に力を入れている。風通しのよい学校づくりをしている。				
吉原北: 3校(神戸、富士見台、吉永二)が一緒になる。球技大会等PTA、子供、先生が親睦をはかっている。				

富士川一：子供達は小学校からそのままあがってくる。子供っぽい（素直でいい子）。

現在プールが使えないので、富士川一小まで行っている。道中の事故が心配。

富士川二：平和で子供達はのびのび素直である。

#### ●役員の決め方

- ・各部の部員さんについては、どの学校も地区ごと決めるところが多い。
- ・副会長、会長については、1本釣りの学校、輪番制（各地区持ち回り）で何年か先まで決まっているという学校。くじ引きで決めている学校の3パターンに分かれた。

#### ★1本釣りの学校

- ・懇親会等で親睦を深めたうえでお願いする。
- ・その学校の卒業生で先輩・後輩の関係でお願いする。
- ・職場の先輩・後輩でお願いする。

#### ★輪番制

- ・割振り表があり、システム的に行われている。
- ・新しく地区に引っ越してきた人、母子家庭はどうするか？等問題もあり、各地区で話し合ってもなかなか決まらない場合もある。

#### ★くじ引き

- ・来ていない人にあたる場合もある。もめる原因。
- ・もし、無責任の人にあたったら・・・離脱する人もあり。

#### ※まとめ

どの方法にも、メリット、デメリットはある。

1本釣りの場合は、ほぼ断れない状況で頼まれる。

輪番制、くじ引きもその後の人間関係が悪くなったりする。

選ばれたら、子供のためだと思い、楽しくやるのが一番だと思う。

#### ●副会長の役割

- ・役員人数を減らされ、副会長1名で会計兼務、司会進行もやる学校があった。
- ・各部付けの副会長、会長付けの副会長と9名ぐらいいるところもある。
- ・会長の仕事を副会長が補佐するところもあり。（地区の会議に出席する等）

●その他

★PTA 活動への取組み（最初の学校紹介被る部分もある）

- ・一中では、イベントの人員確保のため、景品に長谷川農園さんのマッシュルームを使ったりしている。目玉になる商品があると人が集まりやすい。
- ・新聞に使う写真を撮影できる部では、運動会、合唱等で優先的に子供の近くに行ける等メリットをアピールして、役員を楽しんでやってもらうようにしている。

★不審者対策（助言者の石井校長より）

- ・放送で子供に呼びかけている。
- ・交通事故対策で、先生方、PTA が通学路に立っている。（不審者への抑止活動にもなる。）

★友達との LINE（親はどの程度知っているか？）

- ・何年か前までは、中学を卒業し高校に入学するタイミングで持たす家庭が多かったが、今は、小学校を卒業し中学に入学するタイミングで持たす家庭が多い。
- ・早く持たせると、逆に入試の頃には、そんなにスマホに依存しなくなっていることもある。
- ・持たせる以上は、各家庭でルールを設ける必要がある。（ロックはかけない。夜9時まで等）

●最後に助言者の石井校長より

- ・この副会長の中から来年度会長になる方が、何名かおられるので、ぜひ現会長より色々なことを学び、来年度がんばってほしいとの話をいただきました。

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	12名
部会名	成人教育部(小A)	助言者	鳥居 朝野 校長(富士川二小)	
司会者	内山 勝史(吉永一小)	記録者	天野 真(富士川二小)	
テーマ				
会議概要				
<p>黒板使い部会行いました</p> <p>田子浦小 役員4年間 バザー開き PTA 運営費貯めている</p> <p>富士第二小 新聞年3回から2回に blog 開始副会長に</p> <p>富士川一小 バザー運動場で</p> <p>中央小 お祭りバザー(夜集まって学校のパソコンに)</p> <p>広見小 バザーお祭りおやじの会(新聞を自由に号外出せる)</p> <p>岩松小 新聞年3回から2回</p> <p>鷹岡小 新聞年3回</p> <p>富士南小 カメラ2つ使用</p> <p>引継ぎ 意味やり方</p>				
				
				
				

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	17名
部会名	成人教育部(小B)	助言者	宮川 貴志 校長(天間小)	
司会者	石川 慎也(伝法小)	記録者	橋本 剛(天間小)	
<p>テーマ</p> <p>1、PTA新聞について 2、合同事業について 3、その他</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>1、PTA新聞について</p>				
<p>発行回数、時期、内容、配布先</p>				
○発行回数	<p>年2回 11/14校 年3回 3/14校</p>			
○発行時期	<p>5～6月(運動会前)</p>			
発行内容	<p>先生の紹介、校長、会長の挨拶、年間活動予定など</p>			
	<p>10～11月(3回発行の場合) 中間活動報告、今後の予定など</p>			
	<p>2～3月(卒業式前) 年間活動報告など</p>			
○配布先	<p>会員、先生がほとんどであり、 町内回覧、ふれあい協力員などが少数</p>			
<p>○先生の紹介において</p>				
<p>先生の顔写真を掲載している学校がほとんどであるが、1校今年から個人情報保護の関係で 顔写真掲載しないで、先生の似顔絵を掲載した。</p>				
<p>・PTA、保護者として、どんな先生か知るために一番掲載して欲しいことである。</p>				
<p>・先生から、掲載して欲しくないと言われると、掲載できない。</p>				
<p>↓</p>				
<p>個人情報保護は、どこまでの範囲になるのか?</p>				
<p>↓</p>				
<p>顔写真、ホームページなども含めて、先生、児童、保護者も含めて</p>				
<p>市内で統一的な取り扱い方針のようなものを作ってもらいたい</p>				

2、合同事業において

合同事業はどのようなことを行っているか（情報交換）

LED ランプ製作体験 製作キット（参加費として、キット代）を使用 吉原工業講師

スマホ、携帯安全教室

3、その他

本の交換会 家庭で古くなった、読まなくなった本を持ち寄り、本を交換し合う

（本1冊を1冊交換のチケットと交換し、そのチケットで選んだ本1冊と交換する）

助言者からの一言

皆さんの意見を聞いていて、いろいろな工夫をしてPTA活動をよりよくしていると思いました。

ほんのちょっとしたひと工夫、アイデアによって、活動する人員などの負担を減らしても、活動

成果が得られることもありますので、いろいろな角度から活動を見直すことも必要と思います。

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	19名
部会名	成人教育部(中)	助言者	村松 敦視 校長(富士川二中)	
司会者	木伏 健(富士川二中)	記録者	石川 昌己(大淵中)	
<p>テーマ</p> <p>① PTA新聞について</p> <p>② 講演会について</p>				
<p>会議概要</p> <p>各校、自己紹介を行いました。</p>				
<p>① PTA新聞について</p>				
<p>個人情報の管理</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取扱いに注意しなければならないので事前にアンケートを取って掲載する事を了承してもらう</li> <li>・顔が映っていない写真を選び掲載する。</li> </ul>				
<p>内容について</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年ごとにスペースの割り当てをして作成している。</li> <li>・PTA便りを通じて意見を求めても意見が無い。</li> <li>・PTA新聞を見ていない人が多いのでは？</li> <li>・学校便りと内容が同じことが多く悩む。</li> <li>・次年度の役員さんたちが作成に困らない様に、毎年同じ内容で作成する。</li> <li>・学校側に data をもらわず、PTA役員だけで data 集めを行い大人から子供までみてもらえるような内容になるようにしている。</li> </ul>				
<p>印刷について</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部に発注している。</li> <li>・学校のレーザープリンターで印刷を行っている。</li> <li>・印刷単価の安いところに、変更した。</li> <li>・学区内に所在している印刷会社に依頼すると、融通が利いて便利。</li> <li>・印刷会社の人レイアウトなどのアドバイスをしてくれる。</li> <li>・今後子供の減少に伴い予算も少なくなるので、印刷会社を数社あたりコストダウンに努める。</li> </ul>				
<p>新聞の作成で何が一番大変な事かについて</p>				



平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	13名
部会名	体育保健部(小A)	助言者	前島 英喜 校長(元吉原小)	
司会者	三枝 秀暁(富士一小)	記録者	河野 恵(元吉原小)	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会について</li> <li>・体育保健部の活動について</li> </ul>				
<p>会議概要</p>				
<p>運動会・・・場所取り・喫煙場所について</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前日夕方から場所取りOK</li> <li>・当日朝6:30～OKなど</li> </ul>				
<p>(マナーの悪い保護者もいるので誘導が大変)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙場所は数カ所設置している学校が多い。</li> <li>・喫煙場所以外での喫煙を防ぐために部員が巡回。</li> </ul>				
<p>PTAレクリエーションについて</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッジビー、インディアカ大会、ファミリーバドミントン等</li> </ul>				
<p>毎週金曜日に練習している学校もある。 (地域の繋がりのためではあるが、部員の負担は多い。)</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会の方を呼んで行う。</li> <li>・参加の景品がある学校が多い。</li> <li>・レクリエーションのない学校もある。</li> <li>・3校合同で行事を行っている学校もある。 (どの学校も参加数、行事種目で苦勞しているようです。)</li> </ul>				

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	14名
部会名	体育保健部(小B)	助言者	太田 和哉 校長(吉永一小)	
司会者	植松 貞治(鷹岡小)	記録者	土屋 香織(富士見台小)	
テーマ				
1.球技大会について 2.運動会について				
会議概要				
1.球技大会で多い悩み：参加者が少ない				
(球技内容により年齢制限などもあるため)				
対策				
・球技の種目を変える(神戸小：ピンボール→カップスタッキング)				
(須津小：バドミントン→ポッチャ)				
(吉永第一小：親子ドッジボール→ソフトボール)				
(青葉台小：グランドゴルフ→親子ナイトウォーク)				
どの学校も参加者が増えるなど反応が良かったため、そのまま続けていく予定。				
・先生も参加し、親睦を深めている				
2.運動会での問題：駐車場、場所取りの問題が多い				
警備・見回りなどでPTAの負担が多くなる				
まとめ				
どの学校も似たような問題で悩んでおり、さまざまな意見もでて情報交換がはずみました。				
特に、球技大会を成功させている学校の話はとても勉強になりました。				
運動会の問題についてはなかなか解決策も出ず、今後の課題だと思われます。				

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	12名
部会名	環境整備部(小A)		助言者	望月 秀一 校長(神戸小)
司会者	長邊 実次(須津小)		記録者	小宮山 洋実(田子浦小)
テーマ				
① 資源回収について				
② 奉仕作業について				
会議概要				
① 資源回収について				
現状については、年2~3回(中には7回のところも!)と回数を決めて行っている学校や				
回収BOXを設置して随時受付している学校など様々でした。				
回収量が減っている(新聞を取らない家庭が増えた・古紙ステーションの増加)なかで、				
回収量を増やす為にどんな工夫をしているのか意見交換をしました。				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内の店舗に声掛けをして、倉庫等に保管してもらい、役員が回収する。</li> <li>・市の回収・中学や幼稚園と被らないよう、日程の調整をする。</li> <li>・ポスターを貼って、地域の方への意識付けをしている。</li> <li>・運動会等、人が集まる場所で回収日をアピールした。</li> <li>・目標をもたせる(例:全ての教室に扇風機を取り付けるために!等)</li> <li>・回収BOXを設置して、随時受付できるようにした。</li> <li>・参観日に持ってきて頂けるよう声掛けした。(回収BOXのある学校)</li> <li>・古紙回収BOXの横に、アルミ缶回収BOXも設置した。(アルミの回収が増えた!)</li> <li>・アルミ缶を、中間報告を入れながら1週間でどれだけ集められるか学年対抗で回収した。</li> </ul>				
等の意見が出ました。休憩時間を設けたものの、他所の学校の良いところを少しでも持ち帰ろうと				
いう気持ちからか、休憩時間も熱心に皆さんで意見交換をしていました。				
それぞれの学校で、それぞれご苦労があるとは思いますが、各校ともに工夫して取り組んでいると				
感じました。				

② 奉仕作業について

学校ごと、現状と実施回数の報告。年1回か2回開催をしているという事でした。

作業内容については、草刈り・剪定・側溝清掃やペンキ塗り等の屋外の作業と

トイレ清掃や蛍光灯の掃除等の校舎内の作業を実施。

学校によって、屋外作業がメインになるところと、屋内だけで終わるところがありました。

また、実施時期については、運動会前と夏草が伸びてきた9月や10月に行うところが多いようです。

他に卒業式の前行うところもありました。

参加者を集めるためにしていることについて意見交換をしました。

- ・5～6年の児童全員とその保護者に参加してもらう。
- ・6年生の父親と役員にお願いしている。(他はほぼ参加してくれない)
- ・学校のグラウンドを利用している団体をお願いしている。
- ・子ども会に依頼して人数を確保している。
- ・ほぼ全員強制。年2回のうち1回は必ず参加してもらう。
- ・クラス名簿を置いて、参加者に丸付けしてもらったら、人数が増えた。
- ・参加者名簿を置き、担任の先生が目を通すことによって、子ども達のやる気に繋がった。
- ・平日の授業参観後に校舎内の奉仕作業を行った。(5時間目に参観し、その後奉仕作業)

平日だが、授業参観とセットのため、大勢の方に参加いただいた。

(剪定や側溝清掃等はボランティアをお願いしている為、屋内の作業のみとのこと)

等の意見が出ました。奉仕作業を行うためには多くの人数が必要なため、どの学校の部長さんたちも人数確保のために悩んでいる方が多いと感じました。

最後に助言者の望月校長先生から、「子どもたちのため、学校の環境を整えるため頑張っている環境整備部の皆さんに、どこの学校の先生方も感謝の気持ちでいっぱいです。」との言葉を頂きました。

日々、より良い学校にするためにご苦労されている部長さんたちにとって、嬉しく励みになることだったと思います。

今回の研修で得られたことは、各自学校へ持ち帰って、是非参考にして欲しいと思いました。

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	14名
部会名	環境整備部(小B)	助言者	松永 正之 校長(岩松小)	
司会者	江口 秀明(富士川一小)	記録者	渡邊 稔夫(岩松小)	
<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙回収・アルミ缶回収について</li> <li>・奉仕作業について</li> </ul>				
<p><b>【会議概要】</b></p> <p>6年3組の教室において、14:00~15:45(間に1回休憩)の105分間で、上記2つのテーマについて話し合いました。</p> <p>学校ごとの知りたい事項を事前に集約し、各学校の現状(良い点、苦勞している点、問題点など)を出し合うことで環境整備部の情報共有を図りました。</p> <p>他の学校の良い点を参考にし、今後改善できることは改善する。また、学校間で連携できるきっかけづくりとなった会議でした。</p>				
<p><b>【奉仕作業について】</b></p>				
<p><b>1 各学校から出された知りたい情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子化の影響もあり、参加率年々減少。参加率を上げるための呼び掛け方法は?</li> <li>・運搬用トラックの手配方法は?</li> <li>・トラックを出してくれた方へのお礼は?</li> <li>・奉仕作業での仕事分担の周知の仕方は?</li> <li>・学校の樹木の枝打ちはどのようにやっている?</li> <li>・奉仕作業の実施時期、雨天時の対応は?</li> <li>・活動作業中に万が一、事故があった時の対応方法は?</li> <li>・効果的で、参加者がやりがいを感じる奉仕作業とするためには?</li> </ul>				
<p><b>2 各学校から出された現状等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に募集をかけ9月に実施している。トラックも一緒に募集、役員は参加してもらう。</li> <li>・9月末まで環境クリーンセンターがごみを受け入れてくれる。トラック1台25,000円</li> </ul>				

- ・樹木の剪定は業者に頼んでいる。 P T Aからの費用負担はない（学校が負担？）。
- ・親子奉仕作業として子供を参加させるとことで、親の参加率を高めている。
- ・側溝に溜まった砂は、重機を使用し取り除く作業をしている。
- ・土曜日の実施は、子供の習い事が多く、また、親も仕事がある家庭が多く避けている。
- ・樹木の枝打ちを、高齢のおじいちゃんに頼むことが習慣化しており周囲が心配している。
- ・剪定困難な樹木の剪定は、学校を通して予算取りをしてもらう必要がある。
- ・万が一事故が発生してしまった場合、保険に入っていないため問題である。
- ・トラックの手配は、特定の部長、近隣の人頼みの所があり限界がある。
- ・トラックの手配、他の学校が使っている業者を紹介する方法もある。

## 【古紙回収・アルミ缶回収について】

### 1 各学校から出された知りたい情報

- ・収益率を上げるための取り組みは？
- ・回収量を増やすための方法は？
- ・リサイクル活動の連絡体制は？
- ・回収時の取り残しをなくすための方法は？
- ・活動作業中に万が一、事故があった時の対応方法は？
- ・収益金の利用方法は？
- ・校内に回収ボックスのある学校の数、管理方法は？

### 2 各学校から出された現状等

- ・収益についての「おたより」を学校が発行し、顕在化している。
- ・古紙回収の収支報告、P T A総会資料に掲載、運動会等の物品購入費に充てている。
- ・年間約 50 万円の収益を上げている学校あり。
- ・収益率上げる方法として、学校内敷地内へ回収ボックスを設置
- ・回収量を確保するため、子供会、中学校、小学校で回収日の日程調整をしている。
- ・回収量を確保するために、小学中学合同で部会を実施している。
- ・実施日の1週間前に、使用している業者のヤード（置場）に回収ボックスを設置
- ・単価の高い物を取り扱う（アルミ缶の単価が高い）。
- ・回収量の多い少ないが、地区役員のノルマになっている学校がある。
- ・依頼している業者以外の業者が勝手に回収に入っていたケースがあった。

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	16名
部会名	環境整備部(中)		助言者	田中 文博 校長(吉原東中)
司会者	四條 友紀(富士中)		記録者	谷 宣弘(吉原三中)
テーマ 1.廃品回収について 2.奉仕作業について				
会議概要				
廃品回収について  なかなか集まらない。古紙ステーションに持ち込んでしまう。あまり集まらない。総会や役員会で呼びかけをしよう！効率良く集めるには？				
回収例 登校時に持ってくる。数をチェックしてるところもあり。 月2回アルミ缶持って登校。クラスで100%を目指す。 学校に回収BOXあり。新聞だけ。  校区に回収BOX置いて業者に回収をお願いしている。⇒業者から「丸投げじゃないか？」との指摘有り →年1回生徒部員でやろうか？ 皆で一斉の古紙回収をやっていない→各家を回って回収している。 回収場所が校内にスペースがないので地域の工場の一角や緑地公園などで場所を借りてそこに持込み業者が回収。 古紙回収時には部活はやらない。回収に参加する。 部員さんがまちづくりセンターに持ってきて中学生が荷下ろししている。 1回を土日で行う。協力会社を回る。雨天決行。				
告知 廃品回収事前にプリントで連絡、地域に回覧				
回収後は？  業者に持ち込み 学校→業者に持込(有志の車で)  車の手配どうしてる？大変。業者から借りている。				
問題点  小中を一緒にやると小学校に回収されてしまう→中学と小学で持ち込み場所を明確にし、分けた。  小学校や地域と日程調整しているか？先生がやっているか？中学と子ども会は調整できない？				

アドバイス
回収日をまちづくりセンターなどとすり合わせしたほうがいい。多く回収できる日を取れるように。
日程調整して2ヶ月ごとにしたほうが溜まるよね。
学校への回収 BOX 設置は業者が無料でやってくれるよ。
ペットボトル回収はやめたほうがいい。キロ1円。お金にならない。
アルミは単価が高い。古紙は安い。
どのくらい集まる？
生徒数 700 人で 15 万。アルミなし。
生徒数 115 人で 8 万。アルミなし。
奉仕作業
出るゴミの処理をどうしている？
クリーンセンターに持込。トラック借りて。
造園業者にシュレッダー機械借りてチップにして校内の草むらに撒いた。土に帰る。
オペレーター付きレンタル料 8 万だが学校行事で 4 万、次年度 2 万。
草を黄色い燃えるゴミ袋に入れて先生が少しずつ出す。
業者を呼んで回収してもらっている。
いつやってる？9月。体育祭の前。
時間は？2時間、作業は実質1時間。
回数は？年1回。学年ごと実施時期をずらして学校としては年3回。
保健の先生は待機している？アブ、ハチ、怪我等の対応。
事前に蜂の巣を探してとっておきましょう。市役所で防護服借りれます。

1年間のPTA保険入ってますか？

こんな工夫してます。  
借りるトラックにベニヤ板を立てて容量を多くしている。

こんなこともやっています。  
ペンキ塗り。業者に前日養生してもらって役員がローラーで塗る。  
池の掃除。消防のポンプで水を出す。魚いない。サワガニいた。

その他

昔は市内中学校一斉に全校が清掃作業をやった。  
市のパッカー車（ゴミ収集車）借りる？クリーンセンター持ち込みなら無料。  
エンジン付きの機械を学校が保管している。（持ち込みもあり）始動確認してからグラウンドの隅等使う場所を決めて。石が飛ぶ。

収益の使い道は？

学校によってまちまち。  
学校だよりやHPで公開。  
横断幕、扇風機、学校の備品、部活動の用具。  
PTA総会で何を使用したか資料に載せている。  
修学旅行などの行事で夜間の看護師さんを雇う費用。

アドバイス

クリーンセンターは回収数に制限があるので日程決まったらすぐTEL予約。

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	15名
部会名	生活指導部(小A)	助言者	原田和久 校長(吉永二小)	
司会者	山本 牧(吉永二小)	記録者	島崎 裕二(岩松北小)	
<p>テーマ</p> <p>① 旗振り当番 ② かけこみ110番 ③ スマホ、SNS使用について</p>				
<p>会議概要</p> <p>① 旗振り当番～各学校ではどのように行っているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日立っている。(場所も決まっていて自身の子供が通らない所)</li> <li>・長期休み明け5日間程度。</li> <li>・交通安全週間の期間のみ。</li> <li>・PTA役員のみで行っている。</li> <li>・地域のボランティアの方々が非常に協力的である(防犯カメラより役にたつ)</li> <li>・毎週月曜日のみ(地区ごとに、すべての親御さん対象に順番で)</li> </ul>				
<p>疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運転者のマナーは悪くないと感じるが、毎日だと子供たちが安心してしまい、逆に危険予知をしないのではないか。</li> </ul>				
<p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ある学校では、基本集団登校を行っており、グループを作り上級生が下級生にマナーを教えたり、面倒をみたりしている。そうすることによって、子供たち自身が安全は当たり前ではない事、危険予知を学習するいい機会にもなる。</li> </ul>				
<p>② かけこみ110番～子供たちは110番の場所を知っているのか、理解しているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに、ウォークラリーで周り場所を覚える。(ゲーム感覚で)</li> <li>・引取り訓練のときに確認する</li> </ul>				
<p>問題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレを借りにくる。(110番の家を断られてしまったケースもある)</li> <li>・住人の方の高齢化による負担。</li> </ul>				

・店舗ならいいが、個人宅の場合、緊急時とはいえ知らない家に入っていけるか。

・日中留守が多いお宅など。

#### 回答

・防犯ボランティアの方々の助言を聞いたり、地域で回覧版を回してもらう様、協力をお願いします。

・子供たちにも改めて 110 番の家の場所や、しくみを理解してもらう。

#### ③ スマホ・SNS について～使用状況は。

・小学生でも持っている子はいる。

・タブレットでのラインなど、家庭内での使用（親との連絡手段）が多い。

・ゲーム機でも、知らない人と通信し対戦できてしまう。

・低学年でも使える。

#### 意見

・ルール決めも必要だが、自分が判断（コントロール）できる様な教育、親がそういう姿を見せる事も大事だと思う。

#### 原田校長（助言者）

スマホ、ゲーム機など、自己管理ができるように親も学校も一緒に勉強していく。

子供たちから目を離さず、大人としての行動を示す。

学校、親、地域の連携を大事に。

#### ●その他の意見

・不登校について～少しでも減らす取組み。

・小学校と中学校の違い。

・小中一貫教育は必要か？

平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会  
分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	17名
部会名	生活指導部(小B)		助言者	水越 史明 校長(東小)
司会者	九里 一平(富士南小)		記録者	川口 益代(東小)
<p>テーマ</p> <p>①かけこみ110番について</p> <p>②登下校の見守りについて 他</p>				
<p>会議概要</p> <p>はじめは自己紹介から</p>				
<p>①既存宅に引き続きお願いする</p>				
<p>役員の家がかけこみ110番になる</p>				
<p>皆が集まる防災訓練等の際に新規を獲得</p>				
<p>自営のお宅に声掛け</p>				
<p>総会資料に載せて募集をかける</p>				
<p>新しい店舗にお願いに行く</p>				
<p>企業にお願いする</p>				
<p>学校から募集のお知らせを出してくれる</p>				
<p>4月に部員がかけこみ110番の家をあいさつ、確認 → 5月 ウォークラリーで新一年生が部員と回る</p>				
<p>4月に部員が通学路を歩き、かけこみ110番が少ない道はお願いに行く → 一件新規獲得</p>				
<p>かけこみ110番のプレートだけではなく、のぼり旗を設置している学校もありました</p>				
<p>かけこみ110番の全体の地図が学校の昇降口に張ってある</p> <p>「かけこみ110番って何?」という授業をしている学校もありました。そこは名刺カードも作成しており、表面には、伝えよう!として、自分の名前や学年、裏面にはどんなことがあったのか話してみよう!ということで、時間や場所、犯人の年齢等が記されていました。とても参考になりました。</p>				

②登校時はふれあい協力員にお願いしている

集団登校している

下校時は迎えに来てもらっている（近所の人でも可）

事件が起きた数日は集団登下校等行うが、日が経つとやらなくなる

下校時の見守りが手薄である。どのようにして増やしていけばよいのか課題（結論は出ませんでした）

## 地域みんなで子供たちを見守ることが大事

旗振り当番の日を減らしてほしい（地域によって多い、少ない、の差が激しい）

緑のベストを着ている時にあいさつや声掛けをすると答えてくれるが、脱いで声をかけると不審者に間違えられてしまう

夏休みに親子で通学路の確認を行う。ただ、ブロック塀が倒壊しそうで危険と思っても、どうしていいかわからない。地主に声掛け？市から補助金は出る？等

子ども会に入っている人が PTA 役員をやる→ずっと役員をやらない人がいる

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日（日）	会場	吉原小学校	参加者数	16名
部会名	生活指導部（中）	助言者	齋藤 文徳 校長（元吉原中）	
司会者	臼井 優美（須津中）	記録者	辻 直人（富士川一中）	
<p>テーマ</p> <p>① 各学校の活動について</p> <p>② 地区懇談会について</p>				
<p>会議概要</p> <p>①ひと通り各校の活動を聞いて何か意見はないかどうか尋ねました。活動内容を聞き、いくつか質問が 出ました。</p> <p>PTAの活動が多すぎるという意見に対しては、学校の背景による違いが表れているので、統一した 解答を出すのは難しいと思われました。いくつかの学校ではハイタッチあいさつ運動などを活発に行っ ていて、その活動について具体的にどのような方法をとっているかという質問がでました。例えば、あ いさつの係の生徒などが、その係であることがわかるような目印をつけているかどうかといった質問で した。「Give me ハイタッチ」と書いた札を首にかけて係であることをアピールしたり、腕章やのぼりを 使っている中学校がありました。</p> <p>②地区懇談会についてもいくつかの意見が出ました。</p> <p>1. 負担が多くなるので懇談会をなくす方向だが学校での子どもの様子がわかるのであったほうが良い。</p> <p>2. 地区懇談会が各地で減少しているが、保護者は先生と話す機会がほしくないのだろうかという質問 に対し、個人的に学校へ行くから集まらなくても良いという意見、PTA役員は先生と話ができる からいいが、懇談会などの場では人数が多くて聞けないという意見。</p> <p>3. 15地区を3回にわけて（3日間）伝統的に続けてきたが、考える時なのか。負担減少のため3日を 1日に減らすべきなのか。</p> <p>4. 地区懇談会は学校に集まるより、先生が各地区に行き保護者と話すので意味がある。最近は懇談会 の出席者が少なくなっている。先生側としては1度だけ会う保護者より、何回か会う保護者が多く いてほしい。</p> <p>5. 懇談会のない学校では、生徒の悩みなどを伝えるために、ある特定の親ばかり学校に連絡したり</p>				

来校したりする傾向があり、一生懸命やってくれる親なのに「またあの親が・・・」のように目立ってしまう。したがって、先生と話せる場があるとうれしい。

6. PTA役員OBがいまだに協力、アドバイスをしてくれるので、現役員の活動がやりやすい。3年間のことだけでなく、長期間のPTA活動として考えたらどうか。そうすればたてのつながりも横のつながりも太くなるのではないか。

最後に助言者の先生から地域の人たちを巻き込みながら学校と家庭が共感しながら生徒を育てることが望ましいのではないか。

「子どもにとって不幸なことは、親が先生をばかにすることだ。」というお話を聞いたときに、子どもには先生の悪口を言わないことがよりよいだろうと感じた。それは、その先生が本当に意味のあることを言っても、子どもが否定的に考え聞き入れなくなってしまうおそれがあるからだ、というお話をいただきました。

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日（日）	会場	吉原小学校	参加者数	15名
部会名	家庭教育委員会（小A）	助言者	川崎 里恵 校長（青葉台小）	
司会者	藤田 博史（青葉台小）	記録者	望月 千春（今泉小）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コサージュ作り</li> <li>・ 給食試食参観</li> <li>・ 予算の立て方</li> </ul>				
会議概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給食試食会についてテーマを5つ位あげ（免疫力上げる…）その中でテーマを決めて先生に話してもらおう予定。（富士第一小）</li> <li>・ コサージュは手作りではない→その代わりに親子で物作りを行なっている。 その内容を教えるのが毎年大変…今年は紙バンド講座（富士第二小）</li> <li>・ どのように給食を作っているのか？残飯はどうしているのか？どのように献立を立てているのかを栄養士に話してもらっている。</li> <li>・ ボランティアをお願いしてコサージュ手作りしている。 予算の関係で大きさ、ケース…変わってしまう。（田子浦小）</li> <li>・ 25名程の参加、子供達の配膳の様子見学。食べながらVTRを見てもらい参加者の方に申し込みの時に、質問を事前にあげてもらっている。→当日回答。</li> <li>・ 200円以内予算、コサージュ。お店の方にも協力してもらっている。（花時計）</li> <li>・ ベルマーク集計（岩松小）</li> <li>・ 学校給食についての講演。作っている様子を外から見てもらっている。子供の配膳見学、栄養士の先生から食事の説明。参加が多いので新一年生と6年生の親を対象にしている。（広見小）</li> <li>・ 講師の先生を招き一緒にコサージュ作りをしている。（ボランティア）税込270円予算…年々材料費が上がっている。（鷹岡小）</li> <li>・ 予算の立て方について→家庭教育におりてきたものの中で出来ている。バザーをやっている。（9校）</li> </ul>				

みそ作り・・・ちょうこく家の漆畑先生を呼んで、田子小140周年。

バザー・・・子供会とPTAと協力

子供会で集める→町内理事が持ってくる→バザー

校長先生が、例えば今年は各教室に扇風機を買いたいからお願いします！！の様に、  
目的を明確にしている。

事前に売れる物・売れない物を選別している。

- ・出せる物がなくなってきてしまってやめた。
- ・手作り品も出してくれて、そればかりになってしまった。
- ・バザーの販売の仕方を変えた→金額を高め設定して時間になったら半額に…。

結果、5万→8万の収益になった。

売れる物…体操服、給食着、算数ボックスなど。

子供達で作ったさつまいもを蒸して販売。

家庭教育部として行なっているものについて

- ・奉仕作業の時、家庭教育がトイレ掃除（担当になっている）全11ヶ所、部員13名で割り振り、酢酸を金曜日の放課後に撒いて（1日半おいて）当日掃除。すごく綺麗に落ちる。
- ・防災意識を高める活動への参加。（家庭教育がメイン担当で）

家庭教育の主旨は？

毎年やっている事を引き継がれて行なっているが、実際の主旨は？

家庭と教育をつなぐ役目では！！

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日(日)	会場	吉原小学校	参加者数	14名
部会名	家庭教育委員会(小B)	助言者	村松 尚子 校長(大淵二小)	
司会者	大倉 守喜(大淵二小)	記録者	遠藤 祐佐(吉原一中)	
<p>テーマ</p> <p>① 給食試食会について</p> <p>② コサージュについて</p> <p>③ 他</p>				
<p>会議概要</p> <p>※最初に自校での活動紹介・聞きたいこと等を含め自己紹介を行う</p>				
<p>① 給食試食会について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メニューによって参加者数に違いが出る</li> <li>・2~3のメニューから選ぶようにしている(会員にアンケートの学校、役員にアンケートの学校それぞれあり)</li> <li>・栄養士や調理員の話を入れると、ためになる話等もしてくれて好評である</li> <li>・参加者を全学年にしている学校、1年生限定等制限している学校等、学校によって違う</li> <li>・参加者や増やすためには、何かのイベントと抱き合わせにしたりするのも有りだが、空き教室の関係や食器数等で制限を付けざるを得ない学校もある</li> <li>・1年生の保護者の出席者が1番多い</li> </ul>				
<p>② コサージュについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校ボランティア1校、OBボランティア1校、6年生保護者と2校、他10校は既製品購入</li> <li>・ボランティアで作るが、得意不得意が出ない様、デザインを毎年一緒とした</li> <li>・卒業式当日、家庭教育委員が卒業生にコサージュを付けに行くのが大変である(元吉原小のみ)</li> <li>・コサージュに、クラス集合写真・保護者からの手紙を入れて子どもに渡している学校有り</li> <li>・手作りの場合、作った人の名前を書いている学校・無記名の学校両方有り</li> </ul>				
<p>③ 他</p> <p>1. 味噌づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3校で実施している</li> </ul>				

・3校で実施している

・好評で、募集人数を超える応募となり抽選にしている

・学校で2時間程度で作って、家で2〜3か月ねかせるのだが、子どもが毎日楽しみにしている

・PTA会費で参加費の一部補助をしている

## 2. 持久走大会（記録会）参加賞

・飴、ラムネ、ココア、ジュース等学校によってまちまち

・学校行事の為、特に何もない学校もあり

・アレルギーや衛生面の問題で年々変わってきている

・参加賞として何かを渡すのではなく、その日を弁当としている学校有り

## 3. 読み聞かせ

・本選びや大型書籍補助等、委員会は補助として活動（吉永第一小）

最後に助言者より

「今日の研修会含め、PTA活動を通じ今後も実り多き活動としてください」

# 平成30年度富士市PTA副会長・専門部長・家庭教育委員研修会 分科会会議記録簿

平成30年6月24日（日）	会場	吉原小学校	参加者数	20名
部会名	家庭教育委員会（中）	助言者	加藤 寧 校長（富士川第一中）	
司会者	草野 純（吉原東中）	記録者	渡辺 正二（吉原北中）	
<p>テーマ 各校の活動報告と情報交換及び卒業生に贈るコサージュ作成について。</p>				
<p>会議概要</p>				
<p>自己紹介と学校ごとに家庭教育委員会の活動内容や、給食試食会の在り方やバザーの開催及び卒業生に贈るコサージュ作りについて発表がありました。</p>				
<p>中でもコサージュ作りについて、多くのお話が出ましたので報告させていただきます。</p>				
<p>多くの学校が卒業生にコサージュを贈呈していますが、予算や製作に係わる作業負担をどのように工夫して活動しているかについて。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コサージュ作成キットの早期購入割引で予算の削減を図る。</li> <li>・講習を受けた指導者のもとに、作成指導を実施して作業の効率を図る。</li> <li>・2年生が卒業生の為に手作りでコサージュを作成。</li> <li>・購入したコサージュを保護者が手を加える事で、手作り感を出すように工夫する。</li> <li>・外注に依頼する事で、保護者や関係者の作業負担を軽減する。</li> </ul>				
<p>「文化祭」に参加し、バザーやフリーマーケットを開催する。</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益金をコサージュの予算に充てる。</li> </ul>				
<p>その他</p>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートホンの取り扱いに関するルールやトラブルに巻き込まれない工夫として、リスク講習会や指導の実施、家庭では時間などのルール決めを実施。</li> <li>・給食試食会は半数の学校が実施していますが、対象学年を絞ったり食育講演会を行ったり学校ごとに工夫していますが、平日のお昼時間の為、課題も多くあるそうです。</li> </ul>				